

報道関係者 各位

【文部科学省 教育・文化週間 関連行事】

パネルディスカッション

『不登校、引きこもり、いじめ。そのとき親は子供といかに向き合うか』

イベントの開催にあたって



浅川 英文

広域通信制高校サポート校 東京ネットウェイブ 学校長

東京ネットウェイブでの「歩み」が、自らの「自信」につながるものであって欲しい。「学力」だけでなく、「友愛」や「機知に富む人間」に育つ「場」であって欲しい。同じ悩みを持ち、それを克服してきた仲間と関わりあいながら、互いに高め合う力を育てていこう。私たちが大切にするのは、心の教育。先生と学生一人一人の間に生まれる信頼が大切。そうした絆の中で、次のステップを考えます。まずは「学校に通えること」「友達を作ること」。さらに自信を育み、連帯感を高め、お互いに一つの目標となる「高校卒業」を目指します。そして、いつか自分自身を支える力、生きる力を見つけていきましょう。それが、未来のあなたを支える「仕事」となるように。

東京ネットウェイブの願いは、いつか自分の経験したことを、明るく他の人に伝えられるようになって欲しいことです。さらには、誰かの力になれるように自信をつけていってもらいたいです。だからこそ、皆さんと信頼を分かち合える学校づくりを進めています。企業、地域、姉妹校、行政、自然環境やなど、様々なステージとの交流を生かした独自性のある学校づくりを目指しています。

私たちは、若年層からの職業教育を育みます。「生きる力」とは、自分自身を認めることから始まります。東京ネットウェイブで、自分自身の未来を見つめていきましょう。

「あなたには未来を築く力があります。」

つきましては、報道各位におかれましては、是非、当イベントにご来場いただき、パネルディスカッションを通して、私ども東京ネットウェイブの真の職業教育取材いただき、いじめ、引きこもり、不登校など、今の日本が抱える教育面での諸問題を考える一助としていただければ幸いです。



日馬 敏博

広域通信制高校サポート校 東京ネットウェイブ 3 学年 担任

未来に向けて一步踏み出せる教育を実施していますデザイン情報科は「想いをカタチ」にする学校です。ひとり一人の想いを、学校とい

う環境で展開し、夢につなげていきたいという想いをこめて作ったカリキュラムと学科がデザイン情報科です。

学校は学校だけで成り立っているわけではなく、社会や地域や家族とつながっています。同じように人は一人ではなく、たくさんの人とつながっています。つながっていることが自分の自信へとつながり、自分の力になります。そして、それがつながることで、いろいろなモノが創り出されていき、その過程がさまざまなカタチに変わっていき、自分の想いへとつながります。その中から、一つひとつのコトを感じ取ることができると、自分の未来や将来の夢が見えてくると信じています。

デザイン情報科では、学校生活を通じて人のこころを感じ取り、未来に向けて一步踏み出せる勇気を持てる人材を育成しています。

文部科学省 教育・文化週間 関連行事

「文化の日」パネルディスカッション イベント



『不登校、引きこもり、いじめ。そのとき親は子供といかに向き合うか』



コメンテーター「麻木 久仁子」氏を招いて

いじめ・不登校問題の親子の絆について有識者によるパネルディスカッションを開催

<ナビゲーター>	<パネラー>
麻木 久仁子	浅川 英文 : 東京ネットウエイブ 学校長
	森 薫 : 学びリンク総研 所長
	林 真央/恵子 : いじめ、不登校を経験した親子

主催：広域通信制高校サポート校 東京ネットウエイブ デザイン情報科

日時：2012年11月3日(土・祝日) 開場13:00/開会13:30～

会場：東京ネットウエイブ セミナールーム

料金：無料

Tokyo Net Weave
東京ネットウエイブ 別科 デザイン情報科

[本件に関するお問い合わせ先]

◆広域通信制高校サポート校 東京ネットウエイブ デザイン情報科

担当: 五十嵐

TEL: 03-3401-9701

e-mail: igarashi@tnw.ac.jp

本件に関する特別サイト: <http://www.tnw.ac.jp/hs/school/discussion/>

【パネルディスカッションを取材頂ける報道関係者の皆さまへ】

当日のイベントでは報道関係者様の専用の招待席、撮影席、TVカメラ撮影場所をご用意させていただきます。ご取材頂けます場合は下記の出席用紙を FAX もしくはメールにてご連絡下さい。